

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022 RI会長
シェカール・メータ
＜インド（西ベンガル州）＞



第1601回例会 令和3年11月16日(火)

■ 点 鐘 12:10

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 鈴木一比古ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・平澤林産有限会社 代表取締役社長 平澤照雄 様

■ 会長談話 池上幸平会長



本日は職場訪問例会でありましたが、コロナ禍のため予定していた内容を少し変更しまして例会場へ企業様に来て頂くという異例の例会になりました。委員長の市川さんに何とか考えて実現して欲しいとお願いしましたら、今日の企画になりました。最初、平澤林産様とお聞きしました時、伐採する山の上に連れていかれるのかと思いましたが、会場へ社長様に強くお願いして来て頂いたようです。

委員長の別の思惑を見透かされていたのかもしれませんが。社長様はまだ若く65歳でありまして親の七光りなのか八、九なのか、2代目であります。この業界ではいち早く機械化を進め、労働災害等の件数を減らす努力をされて、自ら現場に立って指示を出して危険を回避させ、現場をこなすという方です。従業員は休みなしでたまったものではないかと思えます。事故が無いのが一番であります。

社長さんとは保育園からの上下関係にありまして、社長さんはガキ大将であり、私は子分であり、先生から二人はいつも呼ばれて怒られておりましたが、私を先生から庇ってくれたかは記憶にありません。社会に出てからも相変わらず上下関係は変わっておりませんが、仕事に対する先見性は人一倍あったのかなと思えます。先だってこの会で植林をして山を作る作業を皆さんで行いましたが、環境を考えると絶対になくってはならないと思えますが、社長さんはその木を切り倒すのが仕事です。適齢期を迎えたものを無くし新たに植林をする循環型の最たる職業なのかもと思えます。今現在は林業師と言われているのかとも思いますが、昔は山師と言われてなんとなくイメージが良くありません。これから社長様の近代的な山師としての企業紹介も含めて、私たちの身近な山との融合と接し方を御教授願えればと思えます。

■ 慶 祝 11月誕生祝い

・多田浩之会員 ・杉本徳治会員
 ・田中真人会員 ・伊澤和男会員 ・唐澤千明会員



■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 10/24 地区補助金事業「市民の森整備事業」、11/6 ロータリー奉仕デー「クリーンアップ天竜川大作戦」、11/16 職場訪問例会。今日は平澤林産社長様、卓話をよろしく願います。
- 又、今回のイベントに携わった各委員会の皆さん、大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。
- ◆熊谷健 今日は平澤林産 平澤様、ご講話をよろしく願います。
- 11月6日「クリーンアップ天竜川大作戦」では、ご協力大変ありがとうございました。盛況に終わることができました。「これぞ伊那中央ロータリー」という姿を、他のクラブにも見せられたと思います。感謝です。
- ◆市川修次 平澤林産 平澤社長、お忙しい中、今日はありがとうございます。本日は卓話を宜しく願います。
- ◆宮下健 「クリーンアップ天竜川大作戦」息子と息子の友人と参加させて頂きました。子供達と参加する事で私自身とてもこの事業の大切さに気付く事が出来ました。
- 奉仕プロジェクト委員長としても、皆様のご協力ありがとうございました。
- ◆井上修 会場に来る時、前を走っている品行方正な車がありました。大きなトラックで「那須屋興産」と書いてありました。社長と違って社員はいいですね。
- ◆三澤耕太 先日、伊那・伊那中央の合同ゴルフコンペを開催致しました。大勢のご参加ありがとうございました。
- 平澤社長の卓話、楽しみにしています。
- ◆小椋文成
原一馬
三澤耕太 伊那中央のゴルフコンペで無事入賞しました。また頑張ります。

■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・11月6日（土）ロータリー奉仕デー「クリーンアップ天竜川大作戦」の報告 熊谷健幹事



11月6日土曜日は、ロータリー奉仕デー「クリーンアップ天竜川大作戦」に多数の会員のご参加をいただき、盛況に開催することができました。ありがとうございます。ゴミ回収の成果は、燃えるゴミ140kg、不燃ごみ60kgに及びました、総勢120名を超える参加者が天竜川・三峰川合流地点に集合し、天竜河岸を一斉に清掃するという大イベントとなりました。我が伊那中央ロータリークラブは33名、伊那西インターアクトクラブから14名、伊那市から5名、天竜川上流河川事務所から7名参加をいただいています。

また、開催当日は「長野日報」に全面広告を載せ、上伊那の各ロータリークラブの活動を紹介することもできました。

4ロータリークラブの合同事業でしたが、実質的には、企画から実施まで伊那中央ロータリークラブが行い、松田ガバナー補佐からも格別の感謝をいただきました。美しい天竜川を未来に受け継ぐため、上伊那で、我がクラブの実力を発揮することができました。皆様には心から感謝申し上げます。

・10月24日（日）地区補助金事業「市民の森整備事業」の報告 平澤理ロータリー財団委員長



晴天の中、市長をはじめとして市農林部・伊那谷森と人を結ぶ協議会・伊那西高校IAC・信大留学生・信大農学部の学生・オープン参加の方々約60名が参加。開会式では市長よりご挨拶を頂き、池上会長より市にコナラ400本・充電式インパクトドライバー2台・手鋸2丁の目録を贈呈。

10時40分に始まった植林、コナラ400本は約50分程で終了した。

プロジェクト終了後、会長・幹事と話し合いを持った。その中で「全会員が森林の働き、循環システムを理解した上で植林等の森林整備に携わる」という当初の趣旨を掲げた目的は達成されたという意見でまとまった。また「伊那市50年の森林（もり）ビジョン」を掲げる協力団体である伊那市やその他団体から是非この事業を来年以降継続して頂きたいという要望を受けたことを報告。

今年度で3回目の事業なので次年度以降この事業を継続するかは、特定の受益者に利益が帰属することのないように配慮し、植林事業は継続すべきという意見で一致した。

・11月14日（日）RLIパート1の報告 平澤理会員

11月14日（日）塩尻市市民交流センター（えんぱーく）に於いて、RLIパート1を受講しました。午前9時に登録を済ませ、午後5時まで2600地区からの各RC1名の参加。6グループに分かれてディスカッションリーダーのもとで情報交換や話し合いを行いました。

第1セッション：ロータリーにおけるリーダーシップ

第2セッション：私のロータリーの世界

第3セッション：倫理と職業奉仕

第4セッション：財団1 私たちの財団

第5セッション：会員の参加を促す

第6セッション：奉仕プロジェクトを創造する

次回は来年1月30日に開催予定。

・11月3日（水・祝）伊那RCとの合同ゴルフコンペの報告 三澤耕太ゴルフ部長



去る11/3（水）に伊那RC・伊那中央RCとの合同ゴルフコンペが開催されました。天気も良く暖かい陽気で絶好のゴルフ日和でした。伊那は16名、伊那中央14名の計30名の選手でしのぎを削りました。その結果団体戦は上位5名のストローク戦で伊那456点、中央454点で見事伊那中央の勝利でした。個人戦は杉本会員の優勝でした。おめでとうございます。おかげさまで無事団体優勝ができ、とても嬉しいです。



来年の春は4月からの予定です。また大勢の参加をお願いします。



・「ロータリーの友」11月号紹介 唐澤敏治ロータリー情報委員



皆様お久しぶりです。ロータリーの友を簡単に紹介します。

まず表紙からですが、明日はわが身でブタさんのウェーターがポークステーキを運んでいます。コロナ禍の中でこんな思いをしている方も多いですが裏を返せば明日はわが身ということで危機感を持って生きたいと紹介されています。

11月はロータリー財団月間、11月1日から7日は世界インターアクト週間です。まずロータリー財団では皆様に協力をお願いしたいということで4人のメンバーがインドを訪ねてポリオワクチンを投与した内容の記事があります。メンバーの感想が13ページにありますがスラムを歩いた時に圧倒的な貧困を前に言葉を失い、自分の無力さにさいなまれたとあります。15ページにインドの紹介がありますが水は飲めない、歯磨きも自分で持って来たものを使わないとトイレに駆け込むことになるということで、我々には想像もつかないのが現状のようです。

16ページには松商学園のインターアクターの活動紹介がありますが、松本城の床そうじや台風19号で被害に遭った長沼地区のボランティア活動、またロータリーの青少年交換学生の受け入れや海外研修についての記事が載っています。

18ページからは2022年国際大会が開かれるヒューストンについて記事が載っています。21ページにはホテルマリオットマルキスヒューストンの屋上にある流れるプールがテキサス州を1周するような形をしているということで、私も初めて見ました。

2600地区のニュースの中で縦書きの18ページに長野南RCの記事がありますが、体温測定や顔認証システムの機械を2台寄贈したこと、また20ページに上田六文銭RCが上田市のショッピングセンターでロータリー活動の紹介を行った記事がありますが、非常にユニークな取り組みですので読んでいただけたらと思います。

■ 出席報告 会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者30名 (内Zoom1名)
事前メイク1名 出席率77.50% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム 「職業・社会奉仕委員会」

・卓話者紹介 市川修次職業・社会奉仕委員長



池上会長より平澤林産の平澤社長の紹介がすでにあり私から話す事は余りありませんが、会長より話がありました通りに本来ですと職場訪問例会という事ですが、今回はコロナという事もあって平澤林産有限会社の平澤社長に来て頂き卓話をお願いしました。

平澤財団委員長から話がありましたように伊那中央ロータリーでも先月植林を行いました。日本は国土の2/3が森林という世界でも有数の森林国という事で、一方では日本の林業は成り立ちづらいという話を伺っています。要因は、安い外材を使用している為に材木の価格が安い、又、林業に携わる人達の労働災害が林業では他の産業に比較して大変多い、いろいろな要因があると言われています。

そんな中で平澤さんの所はこの後話が出てくるかと思いますが、高性能な機械を積極的に導入して作業の効率化を図る、又、安全性を高める、最近ではドローンを活用して三次元管理を行っている等、林業においてさまざまな取り組みを行っています。その為に、若い人達も多く従事し、最近では林業においていろいろな表彰・受賞を受けている会社です。大変忙しい中を今回卓話をお願いしました。平澤社長、宜しくお願い致します。

・卓話 平澤林産有限会社 代表取締役社長 平澤照雄 様



本日はお招きいただきありがとうございます。

まず伊那市50年の森林ビジョンの話がありましたが、市長が50年かけて伊那市を変えて行こうという活動をしている中で皆さんが植林を行ったということで感激しております。今日は私の会社の取り組みについて一部ですが参考にさせていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。

労働災害や林業のあり方において、若い人を引き付ける林業、皆様にも興味を持ってもらえる林業を作る上で私達の取り組みを事例を交えて紹介します。現在木材はウッドショックと言われて外国から木材が入りませんが私達は2~30年前からすでにウッドショックというのを把握していて、その頃から経営方針を変えました。木材が入って来ないことで若い人が来ないので人を集めるためにも安全に作業出来ること、効率良く生産出来ることを目指して今のやり方にスイッチしました。労働災害に関してはチェーンソーの怪我や急傾斜地での滑落事故が多いことから減らしていくことを考えて取り組んでいます。具体的にはプロセッサやスウィングヤード、ハーベスターといった人間が関わらない機械を導入して、人間が関わる機械はほとんど使わずに倉庫に眠っています。そのため現在は伐倒する時だけはチェーンソーで人の手を使う以外は機械を使い、安全性を高め生産性を上げることに繋がっています。また昔は架線を張って作業をしていたのが国の施策で安全に作業が出来ないという理由で少なくなっています。残っているのは四国、九州にあるだけで長野県でもほとんど使われていませんが、私の会社では安全に作業出来るよう検証して使っています。幸い若い人の考えで今まで4000回くらい張っているので私が居なくても安全に作業をしてもらっています。林業は従業員1000人の会社だったら30人は災害に遭う業種なので、それが若い人が根付かない原因と考えて取り組みを行っています。

それから私はハチを追うのが好きなのでそのために買ったドローンですが、従業員から会社で使えるのではと提案があったためハチを追わずに山の調査や作業の進捗を見るのに利用しています。現在ドローンを使って効率を上げる取り組みを行っている中で、これからは皆さんの商売でもビルの屋上に30kgくらいの荷物を上げるとか画期的な使い方が出来ると思います。

皆さんの会社でも同じですが若者の考え方が変わって来ていて、私達も林業のあり方を変えて行く必要があるとひしひし感じています。働き方改革もあって安全に作業出来るようにやっていることで会社はきついですけど収益性を高めていく時代なのかとイメージしています。

こんな感じで取り組みをやっているのでもた会社のように来ていただければと思います。



■ 点 鐘 13:30

次回例会
 11月30日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店
 ・クラブフォーラム「ロータリー財団委員会」「米山記念奨学委員会」
 ・例会終了後:理事会